

2021年2月9日

日本ユニシス 最小限のコーディングで DX 強化を支援する ローコード開発プラットフォーム「OutSystems」を販売開始

日本ユニシスは、最小限のコーディングでアプリケーション開発ができるローコード開発プラットフォーム「OutSystems」および関連サービスを、本日から販売開始します。
ローコード開発とは、最小限のソースコードでソフトウェア開発を行う手法のことで、開発工程の簡略化や自動化によって、開発期間の短縮や開発工数の削減ができます。
今後は、お客さまの DX（デジタルトランスフォーメーション）強化支援として、ローコード開発プラットフォームおよび関連サービスを、自社開発のノウハウを生かして積極的に展開していきます。

【背景】

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症で世界経済が翻弄されるなか、企業はニューノーマル時代の IT 投資、DX 戦略を検討する必要があります。しかしながら、事業を支える基幹システムの維持、刷新には膨大な労力とコストがかかり、新たな収益を生み出す DX の取り組みへ投資することは容易ではありません。日本ユニシスは、高速開発と継続的な改善を容易にするローコード開発プラットフォーム「OutSystems」を活用し、生産性/拡張性の向上が求められる基幹システムと、柔軟かつスピーディーな対応が求められる DX の取り組みとの両立を支援します。

【製品概要】

OutSystems は、オムニチャネルにおける開発スピードや対応への機敏性、モバイル UI（ユーザー・インターフェイス）の柔軟な開発による体験価値向上など、利用者接点で必要な機能に加え、基幹システムのモダナイゼーション対応など、企業全体にわたる大規模開発基盤として適用することが可能です。旧来のカスタマイズパッケージや老朽化したシステムは、保守や変更のために膨大なコストや時間がかかります。OutSystems は、継続的な高速開発、容易な連携、安定した拡張性を備えており、従来長期間かかるシステムの再構築を短縮化できます。

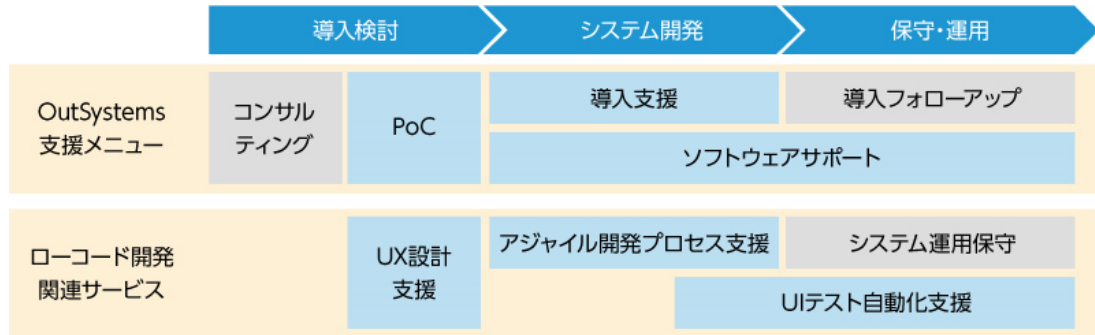
【OutSystems 活用イメージ】



【日本ユニシスの OutSystems 関連サービス】

日本ユニシスは、ニューノーマル時代における働き方改革が重要視される中、クラウド環境でのリモート開発が可能な OutSystems と、アジャイル、DevOps を前提とした各種ツールとの組み合わせは、テレワークにおける開発ツールとして最適だと考えます。また 2018 年度より OutSystems を使用したシステム開発を行っており、システム要件の Fit&Gap や標準化に関するノウハウを蓄積しています。これらにより、適用検討から保守運用までワンストップで支援するメニューの提供と、多くのシステム構築で得られた経験から、利用者視点でシステム設計を行う UX 設計支援や、変更・修正に柔軟に対応できるアジャイル開発のプロセス支援など、ローコード開発に活用できる関連サービスを提供します。

【サービスメニュー概要】



凡例: ■ 提供中 ■ 準備中

区分	サービス名	サービス概要
OutSystems 支援メニュー	コンサルティング	OutSystems の活用プロセスの策定と OutSystems の特性に合った業務/システムなのか、部分適用の可能性など、調査・分析を支援します。
	PoC	OutSystems を用いたシステム化要件の実現性を、プロトタイプ開発を通じてお客さまと検証します。
	ソフトウェアサポート	OutSystems の契約、仕様、不具合に関する日本語でのサポートを提供します。
	導入支援	OutSystems で開発する上でのアーキテクチャー策定、標準化、共通部品開発、パイロット開発の支援を行います。
	導入フォローアップ	OutSystems でのシステム設計/開発などの使用方法に関する問い合わせに回答します。
ローコード 関連サービス	UX 設計支援	UI/UX の専門家が業務やユーザを調査し、業務自体の在り方から見直すことで、ローコードで実現できる、利用しやすいシステム設計を支援します。
	アジャイル開発プロセス支援	ローコードツールと相性の良いアジャイル開発プロセスの実践を支援します。
	UI テスト自動化支援	UI テスト自動化ツールを用いてローコードで開発したアプリケーションに対する統合テストの自動化を支援します。
	システム運用保守	ローコードツールを使用したシステムの運用保守を行います。

【日本ユニシスグループの強み】

日本ユニシスは、ローコード開発の実績に基づいたベストプラクティスのノウハウを保有しており、ローコード開発ツールの特性に最適な活用支援ができます。

日本ユニシスグループであるケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木努）は、株式会社 BlueMeme（本社：東京都千代田区、代表取締役：松岡真功）と、アジャイル手法を用いた大規模なシステム開発プロジェクトの上流工程を改善するローコード向けの方法論「AgileDX」を共同開発しています。

DX の推進に向けては、ビジネス連携のためのマイクロサービス（注1）や WebAPI（注2）を利用したアプリケーション開発も必要な要素です。数多くのサービスビジネスのシステム構築で得られた経験から、効率的なビジネス連携のために、最適なアーキテクチャー、開発プロセス、サービス、ソリューションを組み合わせ、お客さまの DX 推進を効果的に支援いたします。

注1：マイクロサービス：ソフトウェア開発の手法・アーキテクチャーの一種。アプリケーションを機能ごとに独立したサービスに分割することで、柔軟性や耐障害性を高めます。

注2：WebAPI：Webサービスをプログラミングから操作するための方法。

【オンラインセミナー開催のお知らせ】

2021年3月15日（月）～3月19日（金） オンデマンド配信

「DX推進に向けたローコード開発プラットフォーム活用の勘所

～失敗から学ぶローコード活用に向けた標準化の重要性と OutSystems の魅力を紹介～」

◆オンラインセミナー申し込み先：<https://evesys.unisys.co.jp/public/seminar/view/10709>

以上

【エンドースメント】

OutSystems ジャパン株式会社
代表取締役社長 アーノルド・コンセンコ氏

OutSystems社は、日本ユニシスとのパートナーシップを心より歓迎します。OutSystems社は「デジタルトランスフォーメーション（DX）で日本企業の競争力に貢献する」を企業のミッションとして挙げています。今回のコロナ禍に加えて、直面する「2025年の崖」問題によって、日本のDXが今まで想像できなかったスピードで進んでおり、多くの企業がローコードで更なるイノベーションを目指しています。その中で、日本ユニシスの豊富なシステム構築実績に裏付けされた高い技術力には、大変厚い信頼が寄せられています。日本ユニシスがOutSystemsを用いてお客様のシステム構築を実行・支援することで変化に強いシステムを実現し、DX推進に寄与すること。そして、日本企業の生産性と競争力を高めることができると確信しております。今後に向け一層強固なパートナーシップを期待しています。

【関連リンク】

- ローコード開発プラットフォーム OutSystems
<https://www.unisys.co.jp/solution/tec/atlasbase/outsystems.html>
- OutSystems ジャパン株式会社
<https://www.outsystems.com/ja-jp/>

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/